

私の一日～活動奮闘記 in ラオス～

こんにちは。私はラオスの北部シェンクワン県のカンカイ教員養成校に配属されている平良です。今は養成校の付属小学校で英語や算数を担当しながら、児童の学力向上と教師の指導力向上に向けた活動をしています。毎日上手くいかないことだらけですが、周りの先生や子ども達に支えられて何とか頑張ることができています。

そんな私のラオスでのある一日を紹介します。この日はいつもの授業に加えて午後から先生達へのワークショップもあるため、少し緊張気味。どうなることやら…。

INFORMATION

名前 : 平良晃洋

国 : ラオス

任地 : シェンクワン

配属先 : カンカイ教員養成校

AM 8:00

朝はいつも鶏の声で起床。
カーテンを開けると目の前に広がる田園風景。
大きく深呼吸をして一日がスタート。
トゥクトゥク（自動三輪車）に乗って学校まで出勤。
途中お気に入りのパン屋さんでいつものバゲットを購入。



AM 8:30



小学校3年生のクラスで英語の授業を担当。
視聴覚教材が不足しており、初めて
アルファベットの歌を耳にした子ども達。
最初は少し恥ずかしそうにしていたけど、
すぐにノリノリに。笑
授業の後は、担任の先生と指導方法について意見交換。

AM10:30 活動

中休みは子ども達と一緒に外遊び。女の子に人気な遊びはゴム跳び。男の子達はメンコやボール遊び。ラオスで一番人気があるスポーツはサッカー。教室に残る子どもは一人もいない。
日本とは随分違うなあ…。ラオスの子ども達の遊び方はとても豊か。そして、この笑顔！たまらんっ！



PM 12:00

昼食は小学校の先生達と一緒に。皆で一緒にご飯を食べることが大好きなラオス人。おかげで寂しい思いをせずに活動できている。ラオス人の当たり前のように人を思いやる姿にいつも感心させられる。

それにしてもラオス料理…とにかく辛い。涙



PM 13:30



「日本の小学校教育」というタイトルでプレゼンを行った後、それを元にグループ毎にラオスの小学校教育の問題とその解決策を話し合った。「学校・教室環境」、「学習指導方法」、「学習規律」、「学校・学級運営」それぞれのテーマに沿って具体的な問題点と解決へのヒントを模索する時間になった…ことを信じている。しかし、ラオ語がままならず伝えたいことを伝えられない…もどかしい。少し落ち込む私に「ヒロ、とってもワークショップ良かったよ！ありがとう。」彼らの優しさには本当に救われる。気持ちを切り替え、次回のワークショップはもっと彼らの期待に答えられるように努力することを決意。それにしても前日まで私のワークショップの準備に時間を割いてくれた同僚に感謝。やっぱり一人でできることは少ないなあ…。

PM 18:30

夕方は週三日の日課、10キロのランニング。夕食は近くの食堂で済ませる。

その後は帰宅し、メールの確認や家族とのスカイプの時間。

PM 23:00

就寝前のラオス語の勉強。案の定手につかず、心地よい疲れとともに就寝。

ラオスに来てよく思うことは、何かにチャレンジする上でこんなにも恵まれた環境はないということです。自分という人間が一体どのような人間なのか、言葉も文化も全く違う環境に身を置くことで、言わば「人間力」が試されているような気がして、毎日が刺激的です。来る前は自分にできることがあるのだろうか心配もしていましたが、ラオス人の「ありがとう」の言葉に今は何ができるかより、何かしたいという想いが先行しています。残りの活動期間も臆せず様々な事にチャレンジしていきたいと思います。